

Title	目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学大学院法務研究科
Publication year	2018
Jtitle	慶應法学 (Keio law journal). No.41 (2018. 11) ,p.i- i
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AA1203413X-20181130--002

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

目次

論 說

株主代表訴訟で追及し得る取締役の責任の範囲と忠実義務論 ——最高裁平成21年3月10日判決の意義と限界——岡	伸 浩	1
《自由な経済活動に起因する弊害》と憲法22条1項大	野 悠 介	53
日本における土地所有権の成立 ——開発法学の観点から——松	尾 弘	93
民・商法改正と航空運送人の責任菅	原 貴与志	147
「証拠の関連性」をめぐるもうひとつの「つまずきのもと」 ——「証拠の関連性」に関する平野龍一博士の説明について——笹	倉 宏 紀	169
米国のミディエーションにおけるConfidentiality（秘密保持制度）宮	武 雅 子	193

研究ノート

The “SICC”: International Commercial Litigation – A New Major Development in the Field of International Commercial Dispute Resolution – DENJAKIN Viktor... 237

翻 訳

労働法および雇用法への法と経済学的アプローチ
 スチュアート J. シュワブ… 257
 植 田 達／訳

リサーチペーパー

だまされたふり作戦事案における受け子の罪責について
 ——未遂犯論と承継的共犯論の交錯——
 下 地 謙 史… 301